

第3次和歌山県食育推進計画（案）に対するパブリックコメント募集結果

項目	ページ	意見	和歌山県食育推進会議の考え方	
2 第2次計画の進捗状況	P3	2次計画の数値による進捗管理ができ到達点がとてもわかりやすいと思いますが、取組項目ごとに、どのように行って、この到達点になったかの評価が必要と考えます。	第3次食育推進計画は、2次計画の進捗を評価した上で取組の方向を記載しています。	
3 食育推進の基本方針・目標 (3)数値目標	P5	計画案では数値目標が掲げられていますが、これら目標をクリアするために具体的にどのような施策を実施していくのか、明確に記載していただきたい。	本計画は、第2次和歌山県食育推進計画の進捗状況や国の第3次食育推進基本計画等を踏まえ、重点取組を中心に施策展開の方向を記載しています。	
4 施策展開の方向 (1)若い世代を中心とした食育の推進 ②学校における食に関する指導の充実	P6	高校生の食育の推進についての項目を掲げていただきたい。	高校生への食育の推進は重要と考えており、若い世代を中心とした食育で、学校（高等学校を含む）における食に関する指導の充実の項目及び、「5ライフステージに応じた食育の取組」の高校生期の項目を掲げており、各教科、総合的な学習の時間等の教育活動全体を通じ、様々な食育を展開していくこととしています。	
5 ライフステージに応じた食育の取組	P11 ~P12			
	P11 ~P12	本県高校生の運動クラブ生徒における食育の推奨をお願いします。		スポーツをする生徒等への食育の推進は重要と考えており、「5 ライフステージに応じた食育の取組」の小・中学校期及び高校生期において、スポーツと食に関する取組を追記します。
	P11 ~P12	高校生のスポーツにおける食育について、計画に記載していただくとともに、関係機関（栄養士会、大学など）との連携やスポーツ栄養士等の専門家を活用した施策についても盛り込んでいただきたい。		
	P11 ~P12	スポーツをしている者（高校生）にとって、食事の重要性について記述されていませんでした。2020年には東京オリンピックやパラリンピックが行われます。一人でも多く和歌山出身の選手が出		

		場できるように、スポーツと食育についてもっと考えるべきだと考える。県としても食育推進計画にスポーツに関わる食事についての項目を掲げスポーツから食育の推進を図っていくべきではないでしょうか。	
5 ライフステージに応じた食育の取組	P11 ~P12	「主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べる県民の割合」の推進が設定されており、P11-P12のライフステージに応じた食育の取り組みの「乳幼児期、小・中学校期、高校生期での取組」などに具体的に取り入れていただきたい。	ライフステージに応じた食育の取組で、「乳幼児期、小・中学校期、高校生期」の取組として一日三食の規則正しい食事の習慣化を記載するとともに、家庭で調理を行っている保護者世代の青年期や壮年期には、「食事バランスガイドの活用」を記載しています。
	P11 ~P12	歯科からの食育推進も必要であり、「よく噛んで食べること、食べたら歯を磨く習慣化」を取組に入れていただきたい。	ゆっくりよく噛んで食べること及び歯科医師等専門家を活用した取組を追記します。 全てのライフステージにおいて、歯みがきや噛むことに関する取組を追記します。
その他		スポーツに関する食育の推進について、文部科学省のスーパー食育事業を継続していく取組を行っていただきたい。	「食育・スポーツ栄養学を取り入れたアスリートの意識改革と体力の向上」を目的に、文部科学省のスーパー食育スクール事業を実施したところ、生徒の食意識の向上及び体力・体格の向上といった成果が得られました。 この事業は平成28年度で終了していますが、今後、その成果を踏まえ、各学校において、健全な食生活を送るために必要な意識を習得させ、実践力を育てていきます。
		食育指導をしている学校の教員と教育委員会の中でも関係部署が連携をとり、今後は審議を行う場を設定していただきたい。	現在、和歌山県学校栄養士研究会等において、学校の教員と教育委員会関係部署職員が食育に関する協議を行っています。今後もこうした取組を継続していきたいと考えています。
		「わかやま健康と食のフェスタ」の継続と企画の充実をお願いしたい。多くの県民が参加し食育の取組が浸透するために会場拡大や交通手段などの検討もお願いしたい。	より広く県民のご参加がいただけるようフェスタの場所や内容などについて検討していきます。

	<p>食に関する活動を行っている各団体への情報提供や財政支援をお願いしたい。</p>	<p>食育に関する情報については、和歌山県食育ひろば（県ホームページ）やみかぼう食育通信の発刊などにより広く発信しています。また、国の地域の魅力再発見食育推進事業や県単独事業の食育実践地域活動支援事業により、食育の取組を支援しています。</p>
	<p>福祉関係やNPO法人など関連する様々な分野での情報発信や啓発をお願いしたい。</p>	<p>和歌山こども食堂支援事業により、子供の健やかな成長の促進を図るために、帰宅してひとりで過ごさざるを得ない子供達に食事をする場所を提供する団体を支援しています。</p>
	<p>子ども食堂等についても、必要とされるところに適切に運営されるよう支援をお願いします。</p>	<p>施策展開を図る中で、災害時における食生活についての学習機会の提供や啓発については、関係機関と検討していきます。</p>
	<p>行政関連機関や関連団体等と連携し、災害時における食生活（防災食等）についての学習や啓発を進めてほしい。</p>	<p>地域の特性を生かした食育を推進するためには、より県民に身近な行政機関である市町村が食育に取り組むことが重要であり、市町村に対して推進体制の整備が図られるよう、積極的に働きかけを行います。</p>
	<p>市町村の食育推進体制の充実が図れるよう市町村への積極的な働きかけをお願いしたい。</p>	